

2021年12月8日

各位

小野薬品工業株式会社

**CDP 2021「気候変動」および「水セキュリティ」の2分野において
最高評価Aリストに選定される**

小野薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：相良 晓、以下、当社）は、国際環境非営利団体である CDP より、気候変動および水セキュリティに対する対策が評価され、CDP 2021「気候変動」および「水セキュリティ」の2分野において、権威ある A リストに選定されましたのでお知らせします。

なお、「気候変動」におきましては、4年連続の A リスト選定、「水セキュリティ」におきましては、初めての A リスト選定となります。



当社は、中長期環境ビジョン（ECO VISION 2050）のもと、「脱炭素社会の実現」、「水循環社会の実現」および「資源循環社会の実現」を重要項目として定め、事業活動に伴う温室効果ガス排出、水使用量および廃棄物の削減に向けて取り組んでいます。

今後も当社は、革新的な医薬品の創製によって社会に貢献するとともに、取引先と協働しつつ、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

CDPについて

CDPは、企業や自治体を対象とした世界的な環境情報開示システムを運営する国際環境非営利団体です。CDPは、2000年に英国に設立され、数多くの投資家と協働し、資本市場と企業の調達活動を介して、企業に環境情報開示、温室効果ガス排出削減、水資源保護、森林保護を他に先駆けて働きかけてきました。2021年度は、運用資産総額が110兆米ドルとなる590社強の機関投資家と調達総額が5.5兆米ドルとなる200社の大手購買企業がCDPのプラットフォームを通じた環境情報（影響、リスクおよび機会）の開示を求め、世界の時価総額の64%強に相当する13,000強の企業と1,100強の自治体を含む世界の14,000強の組織が、CDPを通じて環境情報を開示しました。CDPは、現在、環境問題に関して世界で最も有益な情報を提供する情報開示プラットフォームの一つとなっています。また、「Science Based Targets イニシアティブ（SBTi）」、「We Mean Business 連合」、「The Investor Agenda」、「ネットゼロ・アセットマネージャーズ・イニシアティブ」の創設メンバーです。詳しくは、次のWebサイトを参照ください。<https://cdp.net/en>

CDP評価について

CDPの年次の環境情報開示とその評価プロセスは、企業の環境情報開示におけるグローバルスタンダードとして広く認知されており、2021年度は、過去最高の13,000社強の企業が回答に応じました。回答企業は、CDPの開示の包括性、環境リスクの認識と管理、野心的な目標の設定などに関する基準のもと、AからD-のスコアを付与されます。また、情報開示を行わない、あるいは十分な情報を提供しない企業は、Fとされます。

気候変動および水セキュリティ A リストや評価方法などの詳細は、次の CDP の Web ページ <https://www.cdp.net/en/companies/companies-scores> で閲覧可能です。